



夏の甲子園中止



兵庫県西宮市の甲子園球場 20日午前

高野連 戦後初、春に続き 新型コロナウイルス影響

日本高野連は20日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、オンラインで第102回全国選手権大会の運営委員会と理事会を開き、

兵庫県西宮市の甲子園球場で8月10日から開催予定だった夏の甲子園大会の中止を決めた。中止は戦後初めて。今春の第92回選抜大会も新型コロナウイルス禍で史上初の中止となっており、戦争での中断を除いて、史上初め

て春夏連続で甲子園大会が開催されない。緊急事態宣言が5月14日に39県で解除されたが、部活動再開のめどが立っていない地域もある。8都道府県は宣言が継続しており、出場権を懸けた地方大会全

ての開催は難しい状況となっている。

4月には全国高等学校体育連盟(全国高体連)が、今夏の甲子園大会と同時期に開催される予定だった全国高校総合体育大会(インターハイ)を史上初めて中止とするなど、高校スポーツ界に影響が広がっていた。

全国中等学校優勝野球大会として1915年にスタートした全国高校野球選手権大会で、中止は米騒動が勃発した18年の第4回、戦局悪化の影響による41年の第27回大会以来、3度目。42〜45年は戦争で中断した。

感染リスク排除できず

新型コロナウイルス感染拡大による影響で、全国高校野球選手権大会が中止となった。感染者数は減少傾向にあるが、移動や長期の宿泊に伴う感染リスクを完全に排除することはできなかった。

同時期に開催予定で史上初めて中止になったインターハイと同じ道を、日本高野連も選択せざるを得なかった。

プロ野球は開幕できずおらず、サッカーのJリーグも中断している。高校野球もコロナ禍で、今春の選抜大会が中止に追い込まれていた。

全国9地区の春季大会や47都道府県の春季地方大会は中止か途中での打ち切りになり、ほとんどの球児が試合に臨む機会を奪われている。

緊急事態宣言で多くの学校が休校となった。今月14日に39県で解除された後も、8都道府県で継続。明確な練習再開の時期すら見通せていない地域も多い。夏の甲子園大会の出場を懸けた地方大会は、7月中旬には開幕していないと、8月上旬までに代表校がそろうのは困難だ。各都道府県の高野連が地方大会を円滑に開催できない厳しい状況が背景にある。